

株主・機関投資家との対話状況及び取り組み内容

2023年の株主・機関投資家との対話及び推進内容は、以下のとおりです。

(対象期間:2023年1月～12月)

対話機会	当社対応者	延べ実施回数
2022年12月期通期決算説明会	社長、役員	1回
2023年12月期中間決算説明会	社長、役員	1回
機関投資家とのスモールミーティング	社長、役員	1回
個別面談(IR取材)	役員、広報IR室 他	110回
個別面談(株主との面談)	役員、総務部、広報IR室 他	5回
当社IR活動に関するヒアリング	広報IR室	5回
機関投資家との勉強会(企業価値向上、人的資本経営)	社長、役員、人事部、経営企画部、広報IR室 他	4回
個人投資家対応	総務部	10回

対話における主なテーマ	対話を受けた取り組み内容
<ul style="list-style-type: none">・ 資本政策、株主還元、PBR1倍割れへの対応・ 収益性改善(営業利益率15%への回復に向けた道筋)・ 事業戦略、サステナビリティ・ 2024年以降の経営計画に向けた期待	<ul style="list-style-type: none">・ 資本政策、事業戦略について、統合報告書2022(2023年7月3日発行)における記載の充実・ 株主還元の再検討と2023年中間決算発表(2023年8月10日開催)における情報開示・ 2024年以降の経営計画の検討・策定と2023年通期決算発表(2024年2月14日開催)における情報開示

株主・投資家の意見・懸念の経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況

- ・ 取締役会において年2回の定例報告
- ・ 個別面談で得られた株主・投資家の意見やフィードバックを、内容により適時、取締役会に報告